

みなしご通信



ふるさと納税で野生動物の森を

去年の今ごろ必死になつて「犬猫みなしご救援隊を選んで広島市にふるさと納税をしてください！」とお願ひしましたがあれから1年：集まった寄付金を基に着々と山の整備は進んでいて、12月2日も山の下見に行きましたよッ♪

広島市のふるさと納税に参加させてもらうことにした私は《それを資金に》食べるものが足りない野生動物のために豊かな森を作ろう！と思ひ立ち自然保護活動団体の活動内容を片っ端から調べました。が出てくる内容は《キャンプ場》《アスレチック場》《みんなBQ》など人間が自然と触れ合える森づくりばかりで《野生動物のためだけ》の豊かな森づくりを活動としている団体は私が探

した範囲ではまったく見あたりませんでした。「人間がそこで遊んでいたんじゃない？《豊かな森》というくくりじゃなくなるじゃん」と思つた私は自然保護活動に取り組んでおられる方々に《イチモツを抱いたまま》いろいろな話を伺いました。

その方々の話にはいろいろな美しい言葉が出てきました。がわかりやすく解説すると《結局は》犬や猫などの愛護動物の保護活動と同じでと言うかむしろ《それ以上の》資金問題Ⅱ《豊かな森づくり》をするためには《豊かな資金源》が必要、豊かな資金を得るためには企業の賛同が必須、だけど野鳥や野生動物のためだけの森づくりだと企業の賛同が得られにくい：となると多額の寄付が集まらない。

でも整備した森の中で人間が楽しむイベントをしてたんじゃない？野生動物が棲むエリアが狭くなっただけでなんもええことないじゃん！という話ですよ！もちろん活動資金の調達が大変なことぐらい私だって重々承知しております。だけど私は犬猫みなしご救援隊の掲げる理念を変えてまで活動したくないわけですよ。

資金がないなりにできることだけを精一杯やっていく。大きなことがやりたいならそれだけ知恵を絞って飛びまわればよい。この際だからクソ生意気なことを言うとお蔭さまで犬猫みなしご救援隊はこれまでの活動実績によつてすでに多くの信用を得ています。企業の賛同が得られなくてもふるさと納税を使えばなんとかなるんじゃない？人間側には1円の得もないただただ野生動物たちが食べるものを実らせるためだけの豊かな森づくりも夢ではない。

山の整備には機械などいろいろ買いそろえねばなら

んし働いてくれる人への賃金の確保も要ります。しかもひと山ずつ私が見に行くにはそれだけの《時間も必要》マジで大変だけど中谷百里今生の最後の大作としてこれぐらいでしようどええのかな。ヨシ！きれいな水が湧き出て食べ物豊富なある野鳥や野生動物たちだけの楽園《森のレストラン》を作ろう！

山に登るスタート地点ですすでに整備してくれる人と《相棒T》の2人と私の距離がどんどん離れて行きました(笑)まだここらは序の口だからヤツらも待つてくれないし私も呼び止めない！「山に入るのがわかつとる



のにクロックスで来るけえよ！」と《相棒T》。

私が怖いのは野生動物じゃなくてミミズとそれに準ずるニョロニョロした地を這う生き物たち。ツル系の植物で覆われているわけでもなく割と整備されてる感じの山ですが竹が進出しているのが問題なのと一本一本の木が細いね。倒れてる松も細いね。《相棒T》に電話をかけたこまで行く気か聞くと「一番上まで登るに決まっとなじやん」と生意気な言い草：ならば私はこころで《中谷参上》のシルシⅡ記念写真を撮つて下山することにしました。皆さま！私もちゃんと山の下見にいきましたよッ(笑)

竹と比べても細い木の今回の山は犬猫みなしご救援隊広島本部から高速道路を使って車で1時間ちよつと場所。見下ろすと結構な数の住宅があるね。野生動物の痕跡を探すことになりました。ワクワクするね！私にはこつちの方が性に合う♪イノシシの足跡発見！それ

なら、と開けた平地を探しました。あった！5×8mぐらいの平地がありました。私は一気に楽しくなりやる気が出ました♪その平地にイノシシの糞を発見♪おそらくここはイノシシが掘つてならした平地。そこらじゅうに掘り穴もあり泥浴びもする場所なんだと思います。イノシシは気が小さいから排泄も泥浴びも同じ場所です。イノシシが泥浴びをするお蔭でほら草も生えず太陽サンサンでキレイじゃないですか！山の中を人力で草刈りするのは大変なこと。イノシシはイノシシで山の中でええ仕事をしていたのです♪

付近の山のすそ野に捕獲檻を発見！錆び錆びで半分朽ちており見たところ長年使っているようには見えませんが気持ちのええモンじゃない。こんなモンが家の近所にあつたら非常に不快で不吉よね！農作物を荒らすという大儀をかざして野生動物を捕らえて殺すこんな野蛮な世界もうここらで終

わらせたいです。山の中にキレイな飲み水と食べるものがあるなら野生動物はわざわざ山から出てきません！どうか皆さま、広島市のふるさと納税を利用して《全国に》野鳥や野性動物たちだけの楽園《森のレストラン》をつくる壮大な活動に引き続きご協力いただきますよう心よりお願い申し上げます。

6年後のタタ

玄関に戻るとタタくんが居ました。何歳なのか。今はこんなに元気そうですがタタはクソなネグレクト飼い主に殺されかけていたのです。6年ほど前の話です。九州の人から「炎天下で犬小屋につながれたままの犬がいよいよ立てなくなつたから助けてほしい」と相談されました。このような不幸は日常的かつ日本中どこでも起きている問題。私の答えはひとつ。『あなたはその子に何をしてあげますか？あなたが何もしない（できない）なら私も何



もしません』厳しいですけど私は何もしない人には何も協力しません。その代わりあなたが一生懸命やるのなら私はなんでも協力します！相談者は「わかりました！やります！」飼い主への説得も含め私の条件をすべてクリアしてもらいました。そしてその子はやって来ました。

うちに来た時のタタはギリギリ生きている状態で骨の標本ぐらい痩せていて白血球・赤血球・血小板肝臓・腎臓みたいな基本的な血液検査だけでも全部悪くて毎日点滴と投薬治療、強制給餌をしながら去勢手術ができるまでに半年もかかりま



した。首輪にげんこつが入るぐらい相当痩せて、いつもドロツとした目ヤニが出ていてこのドロドロ目ヤニが出なくなるまでに1年かかりました。犬をここまで痩せさせた人間でも飼い主だと言いつつこんな姿にさせられてもなお飼い主の財産だと認める日本の法律はチャンチャラおかしい！ちゃんと飼わないヤツは飼い主じゃないし動物をこんな目に遭わせるヤツは肥えツボにでも落ちてしまえ！と思えますよ私は。

NPO法人（特定非営利活動法人）
犬猫みなしご救援隊
www.minashigo.jp

犬猫みなしご救援隊
〒731-0234
広島県広島市安佐北区可部町大字今井田690-2
TEL : 082-812-3745 FAX : 082-815-2711

YAHOO! JAPAN ネット募金

つながる募金

▲ネットやスマホで当団体に募金できます

みなしご通信のバックナンバーは、公式ページに掲載しております。「みなしご通信」で検索してみてください。